

平成 27 年度
地域生活支援ワーカー(地域福祉コーディネーター)
リーダー養成インストラクター研修会
開催要項

1. ねらい ㊦

- ① 社協では、深刻な生活課題や社会的孤立への対応をめざす「社協・生活支援活動強化方針」の具体化にむけて、平成 27 年度より施行の生活困窮者自立支援事業や介護保険制度の見直しによる新たな総合事業を進めるなかで、住民との協働による福祉・生活課題へ気づき、ケースの発見をして支援を構想できる個別支援の力量を高めることが急務とされている。本研修では、全国社会福祉協議会が実施する「地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）・リーダー研修会」の受講者が、その後どのような取り組みや工夫をしながら各地域のワーカーたちの力量の向上にむけた学びの機会づくりに取り組んでいるのかを共有し、きめ細かく定例的に適切な学びの場づくりやアドバイスができるようスキルアップすることを目的に実施するものである。
- ② 本研修受講後に、各地域の地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）・リーダーを支援する素養を身につけ、学びの場のインストラクターとして主体的かつ継続的に活動できる人材養成を行うことを目指している。

2. 主 催 同志社大学社会福祉教育・研究支援センター
滋賀の縁創造実践センター

3. 運営協力 社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉推進委員会

4. 日 時 平成 27 年 7 月 31 日（金）～8 月 1 日（土）

5. 会 場 同志社大学新町キャンパス溪水館 1 階会議室

6. 対 象

- ①平成 25・26 年度全社協主催「地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）・リーダー研修会受講経験者
- ②滋賀の縁創造実践センター主催研修受講経験者
- ③本研修の受講を希望し、同志社大学社会福祉教育研究支援センターが推薦する者

7. 定 員 30 名（先着順 / 定員になり次第、締切とさせていただきます）

8. 参加費 7000 円（研修受講料 3000 円 / 1 日目昼食・夕食代 4000 円）

※1 日目の夕食は演習Ⅳとして研修に含まれます。

※参加費は研修当日に研修会場にてお支払ください

9. 事前・事後課題

①受講者全員に、事前課題・事後課題があります。

②事前課題の詳細は、受講受付確認メールにて詳細をお知らせします。事後課題は会場にてご案内します。

10. 内容

【1 日目/7 月 31 日（金）】

会場：溪水館 1 階会議室・バザール・カフェ（演習

Ⅳ）

11：00－11：10	開会・挨拶・オリエンテーション
11：10－12：30	オープニングセッション 講義 1 「地域支援のシステム形成に向けて －三層の人づくりと支える基盤－」(80 分) 講師：同志社大学社会学部 教授 上野谷加代子氏
12：30－13：30	休憩（60 分） ※軽食と飲み物を事務局で準備します
13：30－17：30	演習「あなたのニーズは何だろうーそこから始まる 2 日間」 講師：同志社大学社会学部 准教授 野村裕美氏 演習Ⅰ：「私のポジショニング」(90 分) エンパシーサークルという方法を用いて、参加者同士が出会い、お互いのこれまでの取り組みを共有し、互いを知る時間をまずはゆっくり共有します。 演習Ⅱ：「各地域における私の実践事例」(90 分) 参加者が事前課題として作成したケースをもとにケースメソッド討議を行います。討議を進めながら、本研修で目指すインストラクター像について参加者とともに焦点を絞っていきます。 演習Ⅲ：「本日のリフレクション」 参加者、講師陣全員で本日の振り返りと明日に向けての準備のセッションを行います。
18：00－20：00	演習Ⅳ： 「ドラマ サイレントプアの生まれた町はどう作られた

	<p>か？」(120分) ストーリーテラー： 豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏</p> <p>研修会場を会場近くのカフェ(※)に移動し、豊中市社会福祉協議会の勝部麗子さんのストーリーテリングに耳を傾けるひと時を持ちます。社協という場においでしてきたからこそ直面したさまざまな事柄や湧いてきた思い、エピソードなどを、カフェの食事を参加者みんなでいただきながら聞かせていただきます。参加者が肌で感じ、そこから自分たちが取り入れるものはないだろうか、探索の時間を過ごします。</p>
20:00	1日目終了

※:バザール・カフェ(演習Ⅳ会場:京都市上京区烏丸今出川上ル岡松町 258)

日本基督教団京都教区が中心となり、1998年に設立されたカフェ。HIV/AIDS関連団体、滞日外国人支援団体、キリスト教、キリスト教の牧師・宣教師、芸術家、教員など、さまざまな活動に携わる人たちが活動分野や立場を超えて、人として自然に出会い「ともに生きる」ことのできる場を創出するという夢を描いて生まれました。同志社大学の元宣教師館でもあり、現在社会学部社会福祉学科の実習科目のフィールドともなっています。

【2日目/8月1日(土)】

9:00-9:10	事務局連絡
9:10-11:00	<p>講義2「地域住民と協働するコミュニティソーシャルワーカーの位置づけと役割」(110分)</p> <p>講師：豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏</p> <p>制度の狭間の福祉・生活課題に向き合い、地域づくりに取り組む豊中市社協のCSWとしての実践から、今後各地で取り組みが広がっていくには、どのような役割がCSWに求められるのか、必要な視点や関係者との協働など具体的なアドバイスをいただきます。</p>
11:00-12:00	<p>休憩(60分)</p> <p>演習Ⅴ：昼食を食べながら、ソロサイレンスに各自取り組みます。 昼食時間は一人で過ごし、1日目の研修及び2日目午前中の講義を受けた今、自分の中にどんなことがわき起こっているかを感じていただきます。誰ともしゃべらず、一人の時間を味わってください。</p>

	<p>さい。</p> <p style="text-align: right;">※昼食は各自でご用意ください</p>
12:00-14:00	<p>演習「主体的に継続的に活動するには <私の場合>」</p> <p>ファシリテーター：同志社大学社会学部 准教授 野村裕美氏 コメンテーター：同志社大学社会学部 教授 上野谷加代子氏 豊中市社会福祉協議会 事務局次長 勝部麗子氏</p> <p>演習VI：「イメージ・思いやひらめきを形にしてみる」(40分) これまでの研修をへて、自分の中にわき起こっているイメージや 感覚を言葉に頼らず手先の感覚や直感にゆだねて粘土をこねなが ら形に移していきます。</p> <p>演習VII：「手放すもの 迎え入れるもの その先にあるもの」(80分) 参加者でチームを作り、プロアクションカフェの手法を用いてフ ィードバックを重ね、私が目指したいインストラクター像を作っ ていきます。</p>
14:00-15:00	<p>クロージングセッション 「新しい取り組み、明日から何ができるだろう」</p> <p>参加者・講師全員でチームごとに出来上がってきたプランを共有 し、2日にわたる研修のふりかえりを行います。</p>
15:00	全日程終了

11. 参加の申込みにあたって

- ①申込み用メールアドレス宛に参加をお申込みください。折り返し事務局より受付確認のメールを送信いたします。

◎申込み用アドレス⇒ stefanoyu@hotmail.com

(同志社大学 上野谷研究室 南 宛)

◎申込みメール記載事項⇒1氏名(ふりがな)、2所属名、3職種・役職、4全社協主催研修会受講年度(25年度・26年度)を明記してください。

- ②2日目昼食は、事務局ではご用意いたしません。各自でご用意・ご調達ください。
 ③宿泊先の手配は事務局ではいたしません。必要な場合は各自でご手配ください。

12. 申込み締切 **平成 27 年 7 月 21 日 (火)**

[定員になり次第、締切とさせていただきます]

※事前課題の締め切りも 7 月 21 (火) です。

13. 個人情報の取り扱い

本研修につきましては、個人情報保護における取扱を十分に考慮し、参加申込書に記載された個人情報は運営管理の目的のみ利用させていただきます。なお、本研修会の資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。

14. 研修に関するお問い合わせ

◎同志社大学社会福祉教育・研究支援センター

上野谷研究室 担当：南

電話 075-251-3399 メール：stefanoyu@hotmail.com

◎全国社会福祉協議会地域福祉部 担当：桑原、佐川

電話 03-3581-4655 FAX 03-3581-7858 メール：z-chiiki@shakyo.or.jp

15. 会場のご案内

同志社大学新町キャンパス溪水館 1 階会議室

〒602-0047 京都市上京区新町今出川上ル

